



教育センター・育成センター所報

# GALILEI



雪割草

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット(カラー)版は  
「柏崎市教育情報支援システム」  
を検索し、トップ画面右上の所報  
「GALILEI」をクリックすると閲覧  
できます。

平成 24 年 2 月号

柏崎市立教育センター  
柏崎市青少年育成センター



## 柏崎で子育て



柏崎市教育委員会

委員長職務代理 根本久美子

わが子は小二から中三まで教育センターのカウンセリングルームにお世話になりました。知的には問題ないのですが、集団生活において情緒や行動に見えにくい困難を抱えていたためです。学校の先生と教育相談班の先生に支えられて過ごした日々で実感したことが二つあります。

一つめは、先生の子どもを思う姿勢と熱意です。

カウンセリングにはすんなりで行ったわけではありません。学校から、行ってみませんかというお話を頂いたときは見放されたような気がしてすぐに返事ができませんでした。悩んだ末行くと決めたのは、担任の先生の「私も勉強します。一緒に考えましょう」とおっしゃった言葉、子どもたちへの熱い指導に心を動かされたからです。カウンセリングに行くようになってから後、わが子の様子に波はあったものの先生方の柔軟な対応で大事に至ることはありませんでした。学校を嫌がることなく通うことができたのは、進級や進学などで環境が変わっても先生方の変わることのない姿勢と熱意。そのおかげだと感謝しています。

二つめは、私が子育ての孤独感から解放してもらったことです。

わが子のためと思って行ったカウンセリングでしたが、私の気持ちもサポートして頂きました。そこで相談を続けるうち、家庭で抱えるしかないと思いこんでいた子育ての不安感が薄らいできました。

わが子のトラブルを避けるため、無意識に気持ちも行動も狭いものになっていたことに気づかされ、多くの人との関わりを求めて外に出るようになりました。

こうして我が家は柏崎でたくさんの方に支えられ子育てをしてこられました。柏崎の子育て・教育への取り組みは素晴らしいと思います。多くの方にそれを実感してもらえよう、PTAとして地域の一員として教育委員として尽力して行きたいと思っています。

## 平成 24 年度「柏崎市学校教育実践上の努力点」

去る 2 月 8 日、柏崎市教育委員会主催の「平成 24 年度柏崎市学校教育実践上の努力点説明会」が、当センターを会場に開催されました。今回は、その内容について掲載します。

将来を見据え、たくましく生き抜く子どもを育てるために、平成 24 年度、柏崎市教育委員会は「ともに歩む“地域の学校”」づくりを推進します。それは、確かな子どもの成長を目指して、学校と家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、協働して様々な取組を推進する姿です。そのために、目指す子ども像や地域の教育課題を共有し、「小中一貫教育・柏崎方式」「柏崎の教育 3・3・3 運動」を力強く推進し、その成果を「子どもの姿」で語る必要があります。



## 学力の向上

「確かな学力」を育てるために、授業改善と望ましい学習習慣の確立に取り組む。

### ◇目指す子どもの姿 ・実践のポイント

- ◇ 主体的に学び、分かる喜びや学ぶ楽しさを実感する。
  - ・子ども自ら問いをもち、考えや思いを表現し合えるよう、課題、資料、発問、学習形態等を工夫する。
  - ・自分自身の成長や課題を実感し、次への目標を見出せるよう、振り返りや自己評価の方法を工夫する。
  - ・互いの意見を聞き合い、認め合える安心感のある学級づくりをする。
- ◇ 習得・活用・探究を通して、思考力・判断力・表現力を高める。
  - ・各種のテスト・調査などの分析から実態を把握し、身に付けさせたい力を明確にした手立てを講じる。
  - ・言語活動を充実させ、多様な考えを伝え合う中で、比較・分類・関連付けや説明、論述など、思考過程を重視した指導を工夫する。
  - ・各教科で習得・活用したことを生かし、総合的な学習の時間における探究的・発展的な学習を充実させる。
- ◇ 学校と家庭との連携を通して、望ましい学習習慣を形成する。
  - ・学習規律やルールを身に付けるために、その必要性を子どもが自覚できるように指導を工夫する。
  - ・自主的な家庭学習の習慣化に向けて、課題の工夫や丁寧な評価に取り組む。
  - ・読書習慣を身に付けるために、学校や家庭での読書の機会を増やしたり図書館の活用を工夫したりする。



## 豊かな心の育成

豊かな心を育むために、教育活動全体を通じた道徳教育と全校体制での生徒指導を推進する。

### ◇目指す子どもの姿 ・実践のポイント

- ◇ 道徳的実践力を身に付け、よりよい生活を送る。
  - ・高めたい道徳性を明らかにし、内容項目を重点化して実践する。
  - ・道徳の時間では、自分の考えを深めるために書く活動や話し合う活動を重視した指導を工夫する。
  - ・ボランティア活動や自然体験活動などの豊かな体験活動との関連を図った道徳教育を推進する。
- ◇ 互いに認め合い支え合う人間関係の中で、社会性を身に付ける。
  - ・人間関係づくりの能力を育てるために、学校生活の様々な場面でつながりを意識した活動を工夫する。
  - ・ルールやマナーに沿った生活をする中で、規範意識を醸成する。
- ◇ 一人一人の子どもが集団に必要な一員であることを実感しながら生活する。
  - ・子ども同士のつながりを大切に、自己有用感や集団への所属感を育むために、一人一人の子どもへの役割を生かす学級経営に全職員で取り組む。
  - ・「深めよう 絆 強調月間」「いじめ見逃しゼロスクール」の取組を小中学校が連携して実践する。
  - ・子どもの心のサインを見逃さないための職員連携、家庭との連携を強化する。



※ 報告・連絡・相談・確認の体制を確立し、全職員が子どもに寄り添うとともに、毅然とした指導ができる学校にする。

## 健やかな体づくり

自己の健康増進と体力向上のために、学校における着実な実践と家庭・地域と連携した取組を充実させる。

### ◇目指す子どもの姿 ・実践のポイント

- ◇ 進んで体を動かし、自らの体力の維持・増進に励む。
  - ・運動の楽しさや喜びを味わいながら技能を身に付けていく授業を工夫する。
  - ・1学校1取組の実践や体力テストのデータの活用により、子どもが自分の体力の向上を実感できるようにする。
- ◇ 健康で安全な生活を送り、望ましい生活習慣を身に付ける。
  - ・健康や安全の大切さに気付かせるために、健康三原則（調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠）に基づいた望ましい生活習慣の確立など、保健の授業や学級活動の充実を図る。
  - ・学校と家庭が協力して、子ども自らが生活を見つめ直す機会を増やす。



## 人権教育、同和教育の推進

知的理解を深め、豊かな人権感覚を育み、人権を守る行動力を高めるために、同和教育を中核にした人権教育を着実に推進する。

### ◇目指す子どもの姿 ・実践のポイント

- ◇ 同和問題を正しく理解し、当事者意識をもってあらゆる差別を解消しようとする態度を身に付ける。
    - ・小中学校が連携して年間指導計画を作成し、正しい認識と人権感覚を育成するための指導内容と場を明確にする。
    - ・計画に基づき、授業では、怒り、喜び、未来への期待といった感情を大切に、差別や人権侵害を自己の問題としてとらえ、主体的に学び取っていく指導を工夫する。
  - ◇ いじめや差別を許さない学級・学校の中で、自分も他者も大切にされていると実感する。
    - ・目の前の悩みを抱えている子どもと深くかかわり、子どもや保護者と一緒に問題を解決していく。
    - ・学校生活のあらゆる場面において、人権尊重の精神を基盤においた指導に努め、認め合い支え合う集団づくりを推進する。
- ※ 教職員が人権感覚を磨き続け、人権尊重の精神を基盤とした学校にする。
- ・「いのち・愛・人権」柏崎展や現地学習会等の主体的な研修を通して、教職員が自らの人権感覚を磨き、人権尊重の精神に貫かれた教育活動を展開する。



## 特別支援教育の推進

一人一人の教育的ニーズに応じた指導支援を着実にを行うために、様々な関係機関と連携を図りながら、特別支援教育への理解を一層深める。

### ◇目指す子どもの姿 ・実践のポイント

- ◇ 「困り感」を改善・克服し、場に応じて適切に行動したり、学習や様々な活動に参加したりする。
    - ・「個別の指導計画」を作成して、全校体制で実践・評価を行い、授業改善や個々の教育的ニーズに応じた指導支援に生かす。
- ※一人一人の将来を見据え、全校体制で一貫した指導支援を行うことのできる学校にする。
- ・関係機関と積極的に連携を図り、支援会議等を実施することで、一人一人に応じた指導支援を見出し実践する。
- ※特別支援教育の視点を教育活動に取り入れ、子どもが満足感や達成感を味わえる学校にする。
- ・障害の有無にかかわらず、子どもが過ごしやすい教室環境を整えたり、分かりやすい指導方法を工夫したりする。
  - ・交流及び共同学習を積極的に行い、特別な支援が必要な子どもへの理解を高めるとともに、ともに助け合い支え合う学習の場とする。
  - ・保護者や地域の人たちの特別支援教育への理解を深めるために、場の設定や方法を工夫する。

## 防災・安全教育の推進

自他の危険予測・危険回避の能力を高めるために、具体的な場面に即した指導の充実を図る。

### ◇目指す子どもの姿 ・実践のポイント

- ◇ 「自分の命は自分で守る」意識をもち、いざというときに備えた実践力を身に付ける。
- ・避難訓練や安全教室等の計画的な実施を通して、緊急時の対応の仕方や事故を防ぐ方法についての理解を深め、実践力を培う。
  - ・教科書や副読本を活用し、原子力防災や放射線についての理解を深める。
  - ・学校と地域が防災・安全上の課題を共有し、緊急時の対応について連携を図る。



## その他の各種教育の推進

教育活動	○努力点	・実践のポイント
キャリア教育	○望ましい職業観・勤労観を育成するために、キャリア教育の視点から教育活動を見直し、計画的に実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の視点による授業と係・当番・委員会活動等の充実</li> <li>・体験活動や講話等、働く人々とかかわる機会の計画的な設定</li> </ul>
情報教育	○分かる授業づくりと情報活用能力育成のために、ICTの効果的な活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材、電子黒板等の情報機器のよさを生かした授業実践</li> <li>・「情報モラル教育柏崎モデルカリキュラム」を活用した計画的・系統的な実践</li> </ul>
環境教育	○地球の未来を考え、持続可能な社会をつくるようとする意欲や態度を育成するために、環境問題に関する学習を計画的に実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エコアクション21」など創意工夫を凝らした資源の有効利用や省エネルギーに向けた活動の推進</li> <li>・「夢の森公園」「子ども自然王国」「ゆうぎ」などの施設を活用した環境学習の充実</li> </ul>
食育	○食への関心を高め、望ましい食習慣を形成するために、家庭や地域、園・学校間の連携を図りながら食に関する指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校栄養職員や養護教諭の授業参加、給食の時間の活用等による指導の充実</li> <li>・食文化への理解を深めるための体験学習の実施と継承</li> </ul>
国際理解教育	○異文化についての理解を深め、互いの文化を尊重する態度を育てるために、交流活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域在住の外国人・留学生等との交流、ALTの活用</li> <li>・小学校外国語活動と中学校英語学習との接続によるコミュニケーション活動の充実</li> </ul>
平和教育	○平和を希求し、その実現に向けて努力する態度を育成するために、命の大切さ、平和の尊さを実感できる教育活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外の各種行事への参加、調査活動などの体験学習の充実</li> <li>・平和教育に関わる図書や視聴覚教材などの活用</li> </ul>



## ■ 柏崎教育情報支援システム情報

### 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名／資料名
1/19	112_デジタルアルバム作成入門 デジタルアルバム作成入門.pdf (テキスト第5版) WindowsLiveムービーメーカーによるスライドショー作成.pdf (Windows7で使用できるソフトウェアの利用手順) JASRAC著作権に関する手続き.pdf (CDなどの楽曲を使用する際の著作権権利処理手順)
2/14	121_スクールオフィス年度更新講習 NO11_年度更新講習.pdf(テキスト第3版) 年度更新チェックリスト.pdf(第2版)

### コンテンツサーバに資料を登録しました

外国語活動教材 "Hi, friends!"

英語ノートに代わる新たな外国語活動教材を教育委員会資料のページに登録しました。ダウンロードしてご利用いただけます。

平和教育関連資料リスト

平和教育関連の視聴覚教材リスト(ソフィアセンターの貸出教材)、平和教育関連書籍(ソフィアセンターの貸出書籍)のリストを教育委員会資料のページに登録しました。

ALT NewsLetter

月1に1回程度のペースで、ALT作成のNewsLetterを登録しています。教育委員会資料のページからご覧ください。

## ■ 情報教育：情報モラルの指導情報

### 1. 携帯電話(ネットもできる電話)からスマートフォン(電話もできる超小型パソコン)へ

2011年12月の月間携帯電話販売台数に占めるスマートフォンの割合は77.0%に達し、新規購入に限ると、もはやほとんどがスマートフォンという時代です。「フォン」と電話の意味を持ちながらも、中身はパソコンに近く、自由にアプリケーションを追加することで何でもできるようになっていきます。情報モラルを指導する側から見た場合、スマートフォンは「機能をどんどん追加していける」「携帯のネット網だけでなく、無線LANも利用できる」ということから、不適切な情報のフィルタリングは難しく、親がコントロールすることは極めて困難と言えるでしょう。子どもにスマートフォンを持たせるのは「親がコントロールできない携帯パソコン」を、「いつでもどこでも利用できるネット環境とともに」与えることであると考えなくてはなりません。



### 2. 意外な盲点「携帯ゲーム機」

Nintendo DSi、PSPなど多くの子どもたちが持っている携帯ゲーム機にもネット環境が当たり前のように内蔵されています。もともとは対戦型のゲームや、ゲームのダウンロードなどのために付与されてきた機能です。

が、現在ではこれらの携帯ゲーム機から普通にインターネットへのアクセスが可能になっています。いずれも無線 LAN 機能を持つことから、自宅で利用できなくても、友だちの家、公衆無線 LAN (駅やコンビニ、ファストフード店などで利用できる場合がある)のある場所、他人の家の無線 LAN 環境を勝手に使う(法律違反になる)、などの環境でネットに接続するケースが少なからず見られます。携帯ゲーム機のインターネット接続機能を制限するような設定を今すぐにでも行うことをお勧めします。なお、ipod やウォークマンといった携帯音楽プレーヤもネット環境を内蔵するタイプが主流となっていますので(機能としてはスマートフォンに近い)、同様に注意が必要です。



## ■ セキュリティ情報

### セキュリティアップデート情報

マイクロソフトより、2月15日付で2月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いいたします。

No.	更新の内容	対象	深刻度
1	<b>MS12-008 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> Windows カーネルモード ドライバーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2660465)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	<b>緊急</b>
2	<b>MS12-009 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> Ancillary Function ドライバーの脆弱性により、特権が昇格される (2645640)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	<b>重要</b>
3	<b>MS12-010 Internet Explorer の脆弱性に対処</b> Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (2647516)	IE6,7,8,9	<b>緊急</b>
4	<b>MS12-011 Microsoft SharePoint の脆弱性に対処</b> Microsoft SharePoint の脆弱性により、特権が昇格される (2663841)	Microsoft Share Point Server2010	<b>重要</b>
5	<b>MS12-012 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> カラー コントロール パネルの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2643719)	2008Server	<b>重要</b>
6	<b>MS12-013 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> C ランタイム ライブラリの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2654428)	Windows Vista/7, 2008Server	<b>緊急</b>
7	<b>MS12-014 Microsoft SharePoint の脆弱性に対処</b> Indeo コーデックの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2661637)	Windows XP	<b>重要</b>
8	<b>MS12-015 Microsoft Office の脆弱性に対処</b> Microsoft Visio Viewer 2010 の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2663510)	Microsoft Visio Viewer 2010	<b>重要</b>
9	<b>MS12-016 .NET Framework および Silverlight の脆弱性に対処</b> .NET Framework および Microsoft Silverlight の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2651026)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	<b>緊急</b>

**注意** **警告** **重要** **緊急** は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

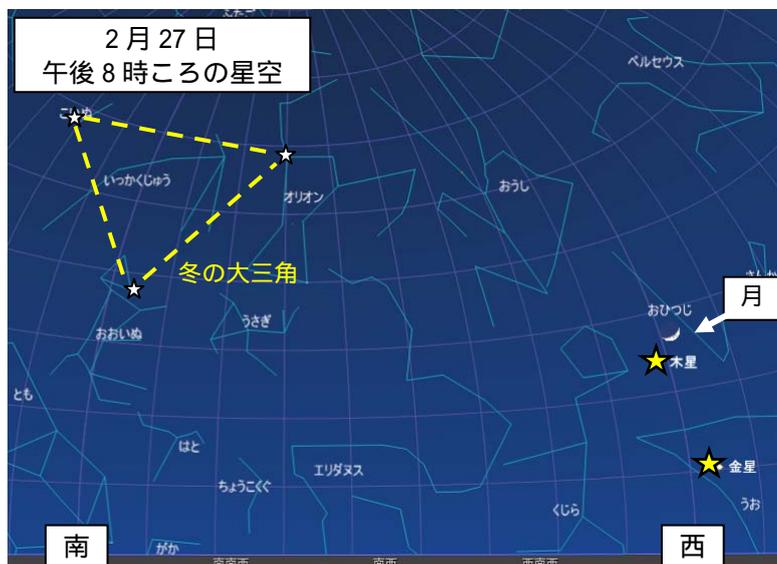
## トピックス

### 天体観察はいかがですか？（冬の大三角・木星・金星・火星）

日本海側の冬空はどんよりと雪雲に覆われることが多いのですが、ときおりはとつするほどきれいな星空が顔をのぞかせていることがあります。冬は明るい星が多く、また空気も澄んでいるので（天気さえ良ければ！）星座を探しやすい季節です。

オリオン座やふたご座、明るい星をつないだ「冬の大三角」や「冬のダイヤモンド」を探してみましょう。また、惑星の観察もおススメです。西の空に金星と木星が、東の空には火星が見られます。惑星は、恒星に比べて明るく見えるので見つけやすく、特に、2月25日から27日にかけて、月が金星・木星のすぐそばを通過していきますので、非常に観察しやすくなっています。ぜひチャンスを見つけて、観察してみましょう。

観察の際は、防寒対策、安全対策を万全に整えることをお忘れなく！



## 紹介します！おススメ教材！

道具の貸し出しやデータの提供を希望される方は、科学技術教育センター（電話20-0212）にご連絡ください。

センターの教材については、貸し出し期間は原則1週間です。ほかに予約が入っていないければ延長することも可能です（要電話連絡）。

### どうぞご利用ください！

	<p><b>発熱発火器</b> シリンダーの中にティッシュを詰めて、圧縮空気でティッシュを燃やします。天気の学習で気圧が高いと気温が上がる説明をするときに使えます。</p>		<p><b>ブロー</b> 送風器です。空気の力でいろいろなものを浮かべてみましょう。もちろん、大型風船を膨らませることもできます。大型風船も貸し出し可能です。</p>
--	--	--	--

このほかにも、教育センター（科学技術教育センター）の研修会等で製作した教材があります。お気軽にお問い合わせください。

### 確認をお願いします！

センターの移転に向けて、物品整理を行っています。理科室や理科準備室等に購入した覚えのない道具が眠っていませんか？「センターから借りっぱなしだった!」といった物品がありましたら、至急返却をお願いします。

# 心の窓

No.150

教育相談班だより 2月号

〒945-0833 柏崎市若葉町2-31

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

カウンセリングルームから

## 教育相談における連携とコミュニティ援助モデル

最近、教育センターの教育相談班では、短期で終わらないケースや(二次)障害を合併しているケース、福祉的支援を要するケースなど、教育相談の範疇にとどまらないケースが増えてきており、学校や関係機関との情報交換、教師へのコンサルテーション、支援会議の実施(学校サポート協議会)、医療機関紹介、などの「連携」を取ることが日常的になっています。

当然のところながら、当センターの支援だけで問題の全面解決や治癒に向くケースはほとんど無く、家族の力、学校の力、地域の力など、コミュニティの力を借りなければならない場面が多く見られます。

私が従来から依拠している個人カウンセリングや心理療法のアプローチと介入技法だけでは支援の限界を感じていた真っ只中、12月の或る研修会で「コミュニティに対する臨床心理学的援助」をテーマにした講義を受けました。

それによると、コミュニティ臨床における支援者は、クライアントがそれを取り巻くシステム・環境とどのような関係をもっているかを理解し、コミュニティに存在するさまざまな社会資源、とりわけ身近な存在で生活を共にしている人たちをエンパワーし、クライアントが「援助を受け身で与えられる」存在から「自ら必要とする援助を要求・主張する」存在へと変容するよう促します。その為に支援者はクライアントが所属するコミュニティに直に働きかけ、①仲間意識(=所属感)、②役立ち感(自分はコミュニティにとって役立っており、働きかければ変わってくれる=影響力、貢献)、③お世話感(お世話していただいている、必要な時にはお世話してもらえる=相身互い見感)、④ご一緒感(歴史や行事、時間、空間、経験の共有=情緒的結合)、などが感じられるようにコミュニティ各所に連携の働きかけを行うのが重要なのだそうです。

個人の(不適応)問題を個人の原因・責任にのみ帰し、個人が変わることだけを目指す従来の個別相談モデルでは限界があると考えています。勇気も労力も居る作業ですが、個人を取り巻くコミュニティの在り方を変えていく努力が、これからの相談支援者には求められているのだと思います。



(文責 教育相談係長 小林 東)

## スキー・スノボ教室



2月8日、上越市安塚のキューピットバレイスキー場へスキー・スノボ教室へ行ってきました。大雪のため一週間遅らせての実施でしたが、なんとこの日も大雪！バスでスキー場に着いた当初は、降り続く雪で視界が悪く、新雪で足元もふわふわで歩きにくい状況でした。

でもみんな元気に支度をしてゲレンデに飛び出していきました。何回目かのスノーボード組、初めてのスキー組、ソリ組、のんびり雪景色を楽しみ隊に分かれて、それぞれ活動です。

本当は参加をやめようと思っていた通級生も数名いましたが、普段の活動を通して仲良くなり、あの子が行くなら自分も行ってみようかなと参加を決めました。できないから欠席ではなく、自分の出来るかたちで参加するのがふれあいルームです。

到着から30分程で雪は止み、晴れ間も見えて視界も良くなりました。雪質も最高です。スノボ組はリフトで上まで上がり楽しんでいました。初めてスキーを履いた子は、時間も短く、楽しむところまでは行けなかった子もいましたが、初めてのことに挑戦できたということは、とても良い経験になったはずです。また、みんなと一緒に参加できたということ自体、自信になった子もいます。

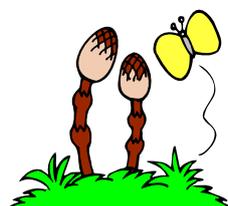


帰りのバスの中、通級生たちはみんな元気でした。後日書いてもらった作文には、楽しかった思い出が沢山綴られていました。

(文責 ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



### 教育相談班 3月の予定



#### 《ふれあいルーム》

14日(水) 保護者会

23日(金) 通級終了日



<h1>育成センター通信</h1>	0833	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

## 3・4月の予定

(3月)

日	曜	こと	が	ら
9	金	昼間	育	生 (3班・4班)
19	月	昼間	育	成 (5班・6班)
27	火	昼間	育	成 (7班・8班)

(4月)

日	曜	こと	が	ら
9~27	月~金	高校	下	校育
23	月	夜間	育	成 (10班・11班)
27	金	昼間	育	成 (1班2班3班4班)

# 青少年育成委員座談研修会

## ～少年非行の現状と対策について講演～

去る2月10日、市民プラザ学習室において、青少年育成委員の座談研修会を行いました。この座談研修会は、青少年育成委員の見識を深めたり、資質向上を図ったりすることを目的に毎年開催しているものです。

今回は、講師に柏崎警察署生活安全課長 田代正幸さんを迎えて、「少年非行の現状と対策について」という演題で講演をいただきました。内容は、柏崎警察管内の具体的な事例もあげてわかりやすく説明していただきました。特に最近は、「子どもたちが携帯電話やインターネットで犯罪に巻き込まれるケースが多発している。これらの被害にあわないためには、有害サイトへの規制するフィルタリングを徹底することが重要である」と強く話されておりました。参加した32名の育成委員の皆さんは、熱心に受講され、有意義な研修会に終了することができました。

受講者のみなさんからは、「わかりやすかった。大変参考になった。今後の街頭育成活動に役立てていきたい」などの声がありました。研修会終了後、会場を移動し情報交換会を行いました。



# 育成座公演が行われる！

～通いなれた通学路、でも気をつけてね～

最近、児童・生徒たちの登下校をねらった不審者が多発しています。このようなことから不審者対応の一環として、去る1月20日、剣野小学校PTAの子ども安全教室主催により、「通いなれた通学路、でも気をつけてね」と題して「育成座」によるスタンツ公演が小学校の体育館で行われました。全校児童と保護者の皆さんから寸劇を通して「通いなれた通学路でも危険が潜んでおり、子どもたちが安全に気をつけて身を守ることの大切さ」について理解を深めていただくことができました。

第二部では、子どもへの犯罪を少しでも未然に防ぐための合言葉「いかのおすし」についてのねらいや意味をわかりやすく説明しました。特に、不審者から声を掛けられたら、大きな声を出して逃げるよう子どもたちに指導しました。「育成座」は、公演依頼があれば市内どこでも出かけていきます。皆さんお待ちしております。



## 育成座

どこでも出前公演します！

ボランティア集団です！

### 育成座概要

団体名:育成座 座長:中村貞子 会員:19名 設立:平成14年11月

目的:青少年健全育成や不審者対応のため、街頭育成活動で得た事案をスタンツで演じて、市民を啓発するとともに、地域ぐるみの健全育成活動を支援して、安全・安心のまちづくりに貢献する。

主な活動:保育園・幼稚園・学校・地域イベントなどへの出前公演

事務局:〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 柏崎市青少年育成センター  
TEL20-7601:FAX23-4610

## 整理と整頓

教育研究班情報指導員 草間 宏樹

部屋の整理でもしよかと、何気なくインターネットで効率的な方法を探していた時の事です。「断捨離」という見慣れない言葉を見かけました。

断捨離とは、クラター（clutter：がらくた）コンサルタントのやましたひでこさんの提唱する生活術のようで、ヨガの「断行・捨行・離行」という考え方を応用して、人生や日常の生活に不要なモノを断ちます。その事によって、心もストレスから解放されてスッキリすることが目的のようです。・・・何だか難しそうな感じです。しかし、そこまで突き詰めなくても（断つ事がいいとは限らないモノもあると思うので）片付けるに越したことはないと思い、重い腰を上げてみました。

さて、始めてはみたものの、途中途中で現れる感慨深い品々に心を奪われて思い出迷子に陥ってしまい、なかなか効率的にはいきません。不要なモノなど一つもないという気になってきてしまいました。時間だけが刻々と過ぎていくという、典型的なパターンです。

本来、「整理」とは「乱れたものを整えたり、無駄や不要なものを処分したりすること」であり、「整頓」とは「必要な物がすぐに取り出せるようにすること」の意味を含んでいるようです。そのことを踏まえると、片付けは、「整頓」を中心にして、必要に応じて「整理」するとういのがバランスの取れた方法のような気がします。あくまでも個人的な考えですが・・・。

片付けにとどまらず、普段の生活においても、バランスのとれた考え方を応用していけば、もう少しスマートに行動していけそうな気がしました。

## DIY

教育研究班研究助手 今井 芳和

私は自室の棚や、家で使われる棚を作ります……………と言っても市販されている物を組み立てるだけの、工作以上日曜大工未満といったところでしょうか。

インターネットで調べ物をしていると「DIY」という言葉がありました。

言葉自体は50年以上前からあったようですが、日本国内でこの言葉が広まったのはここ数年のようでした。「Do It Yourself」の略語で「自分でやろう」という意味だそうです。日曜大工という言葉よりも「DIY」と言うのが最近の風潮のようでした。ただ、リフォームや住宅補修、ログハウスのような小屋の建築から、一般住居の設計建築まで含まれ、日曜大工よりも広義な意味を持っているようです。

「DIY」は1945年にイギリスで始まり、アメリカへと広まったそうです。アメリカでは「DIY」をするにあたって必要になる工具や資材を専門に扱うホームセンターもあるほどのようです。日本国内のホームセンターでも「DIYコーナー」が浸透したようで、よく行くホームセンターにも「DIYコーナー」がありました。

専門業者に依頼すると高価な物を安価に自分で自作できることや、自分の趣味にあった物を自由に作れること、すべて自分でやることで充実感や達成感が得られることが利点だそうです。

そろそろ新しい棚が欲しくなってきたので、ここは自作をしてみようか、と迷っているところです。



# 平成23年度 柏崎市立教育センター参加・利用状況

研修講座・事業名		10月の 利用数	11月の 利用数	12月の 利用数	1月の 利用数	H23年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座(情報・科学を除く) *	2回 94人	8回 502人	4回 131人	0回 0人	61回 1937人	
	共催研修、研修講座	0回 0人	5回 446人	0回 0人	0回 0人	7回 541人	
	調査研究員会,教科研修員会	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	5回 31人	
	教育情報化研修講座 *	2回 1人	3回 9人	5回 96人	2回 4人	54回 448人	
	情報教育主事の要請支援等	9回 46人	10回 28人	7回 18人	7回 21人	95回 763人	
	その他の相談・利用・参加数	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	1回 22人	
	教科書センター利用閲覧数	8人	21人	18人	6人	346人	
	理科研修講座 *	2回 25人	2回 13人	2回 16人	2回 57人	23回 277人	
教育 研究 班 ・ 科学 技術 教育	学校等の要請研修	1回 32人	2回 5人	0回 0人	0回 0人	17回 868人	
	地域の自然研修・観察会	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	3回 53人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	0人	800人	0人	0人	5996人	
	理科教育の相談・支援	4件	8件	5件	6件	90件	
	理科教材・物品の貸出	10件	14件	7件	8件	72件	
	(教職員研修の合計)	28人	18人	16人	57人	333人	
	教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	15件	14件	10件	9件
のべ相談件数			83件	82件	80件	76件	775件
学校訪問相談		7回	10回	7回	6回	92回	
電話相談		1件	4件	0件	0件	14件	
ソーシャルスキルトレーニング		5回	5回	5回	5回	36回	
		27人	27人	26人	24人	194人	
ふれあいルーム在籍人数		小学生	7人	8人	8人	8人	58人
		中学生	9人	10人	10人	11人	94人
ふれあいルーム通級日数		20日	20日	16日	16日	168日	
ふれあいルーム通級のべ人数		小学生	68人	78人	65人	65人	445人
	中学生	88人	94人	73人	69人	747人	
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)	10人	12人	11人	11人	93人		
教育団体, P T A, 市民等の利用		237人	124人	140人	186人	2413人	
<b>教育センター事業の参加・利用総数</b>		<b>746</b>	<b>2,279</b>	<b>692</b>	<b>537</b>	<b>16,324</b>	
教育センターにおける教職員研修講座 ( * 印の合計 )		6回	13回	11回	4回	138回	
		120人	524人	243人	61人	2,662人	

## 教育センター及び青少年育成センターの全面移転について(お知らせ)

現在の両センターは、建物・設備とも古く駐車場が狭いため、利用者には長い間ご不便をおかけしていましたが、本年4月にその機能を新潟産業大学B号館へ移す予定です。いままで改修等を検討していましたが、学校法人柏専学院から御理解をいただき、同大学キャンパス内にある建物をお借りすることになりました。移転先では、研修等により大学の他施設の借用が可能なことや学生を含めた連携交流が促進できること、柏崎・夢の森公園に隣接する好環境にあり体験プログラムなどを利用することができます。また、同大学にとっても、教職課程の教育活動及び学生の課外活動の活性化に繋がり、双方にとって有意義な連携ができると期待しています。

### 記

- 1 移転年月日 平成24年4月1日
- 2 移 転 先 〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2  
新潟産業大学キャンパス内 同大学B号館
- 3 そ の 他 電話番号及びメールアドレスに変更はない予定ですが、ファックスは代表番号のみとなります。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班(科学技術教育)TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

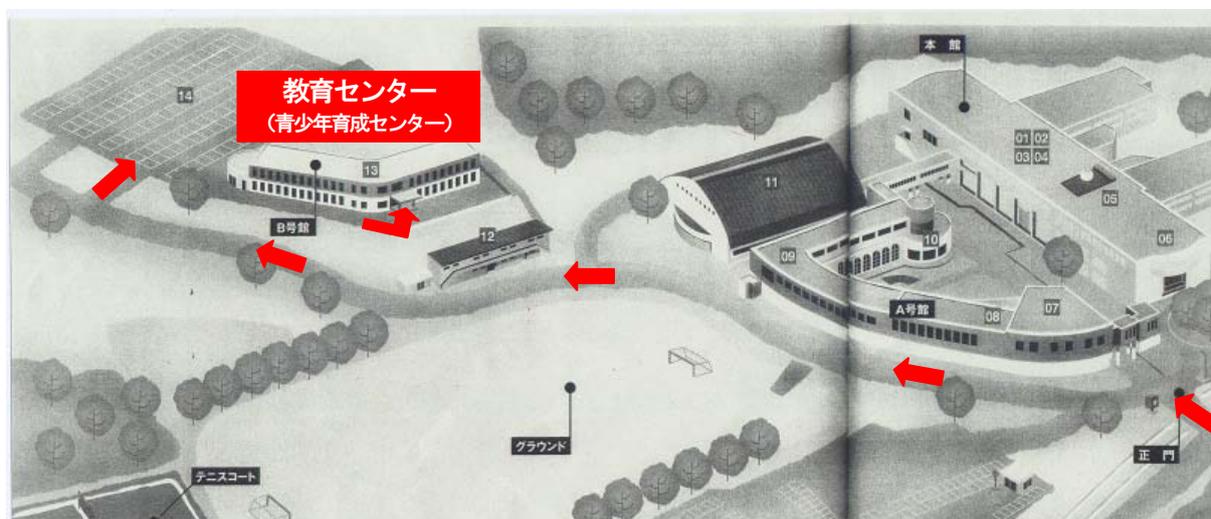
教育相談班(加サリグループ)TEL：0257-32-3397

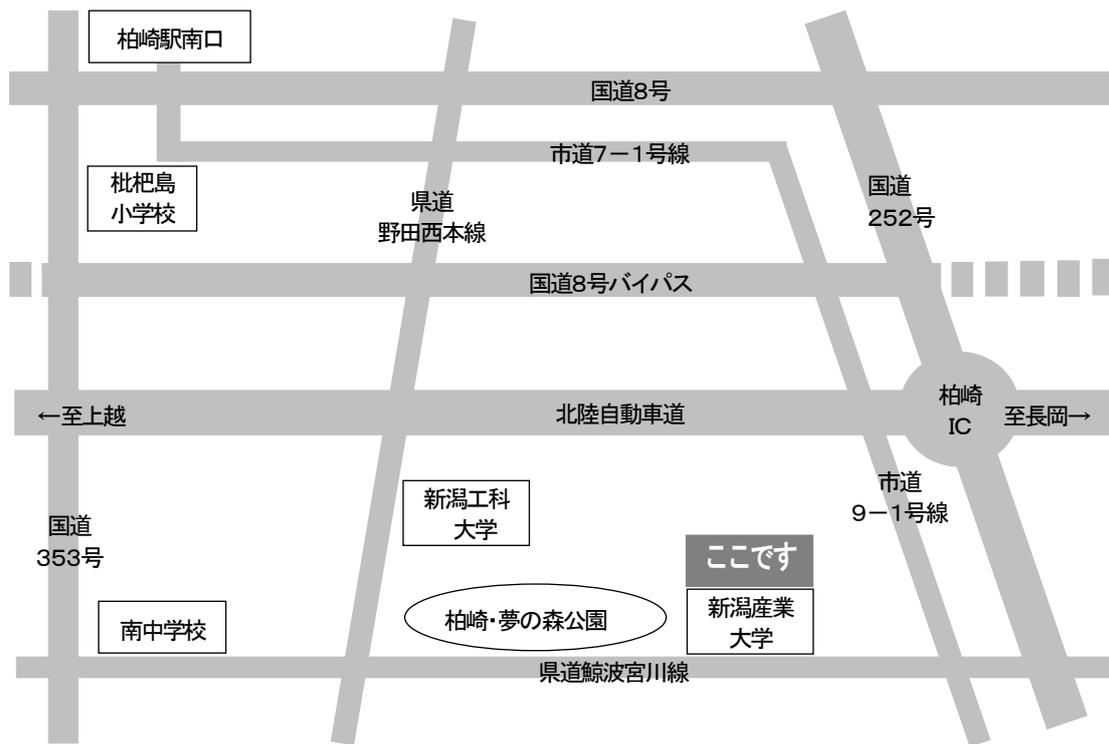
E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班(電話相談)TEL：0257-22-4115

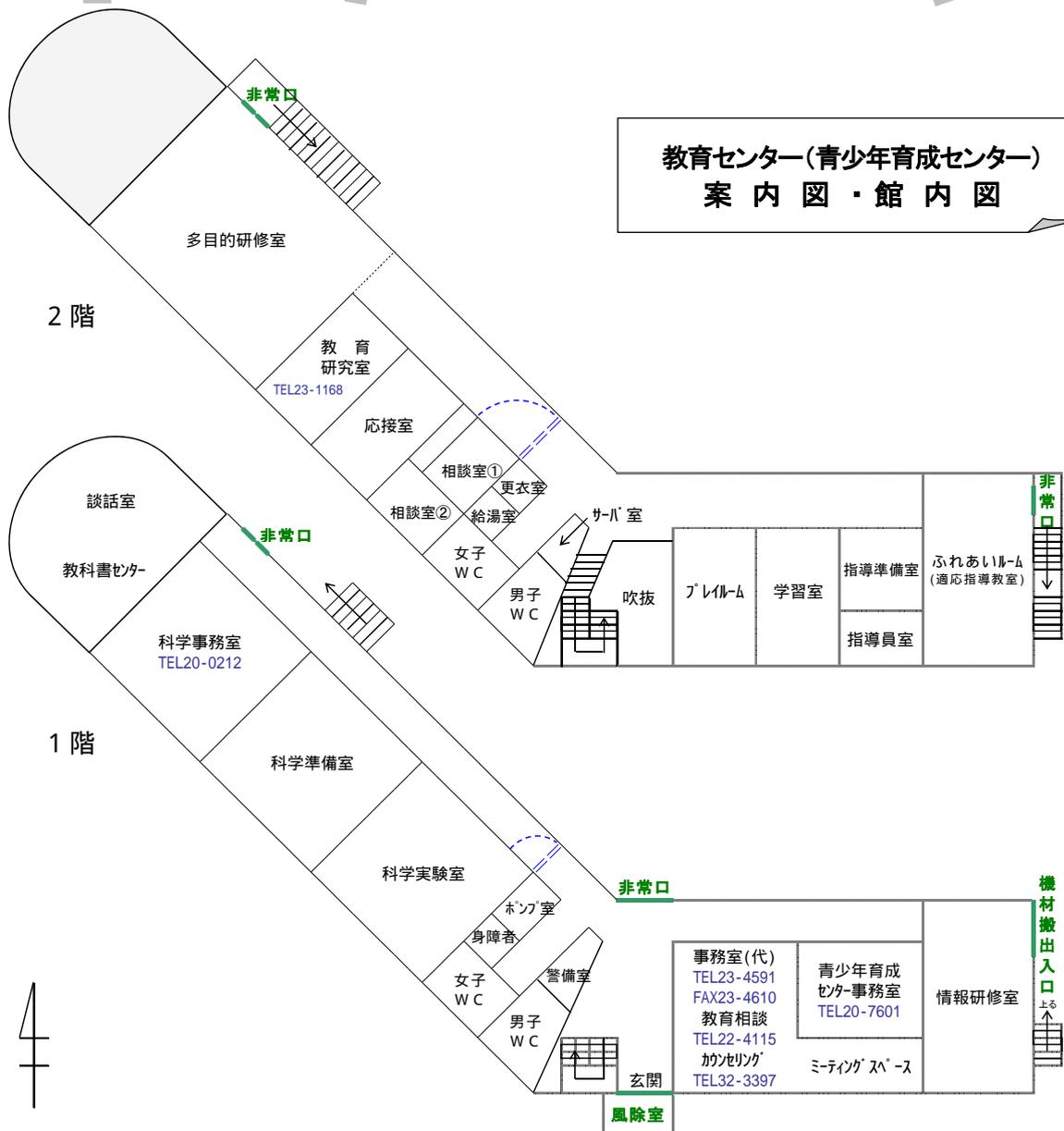
青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp





**教育センター(青少年育成センター)  
案内図・館内図**



ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者  
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方  
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも  
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造  
と検証の精神が必要であるという趣旨から  
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センター・青少年育成センターの情報  
とともに、柏崎の教育を広く発信していきま  
す。

所報「GALILEI」 平成24年2月末日発行

編集・表紙写真 中山 博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail nakayama@kenet.ed.jp



## 柏崎市立教育センター

TEL(代表) 0257-23-4591  
FAX(代表) 0257-23-4610

教育研究班・情報教育 TEL・FAX 23-1168  
教育研究班(科学技術教育) TEL 20-0212 FAX 20-0205  
教育相談班(カウンセリングルーム) TEL 32-3397  
// (電話相談) TEL 22-4115  
E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

## 柏崎市青少年育成センター

TEL(代表) 0257-20-7601  
FAX(代表) 0257-23-4610

〒 945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2 31